

# 序

この紙パルプ製造技術全書は昭和41年7月に初版を発行して以来、必要に応じて、個別に増補、改訂を重ねてまいりましたが、近年の技術革新の進展および市場動向の変化は著しく、紙パルプ産業の分野においても大きな変化が現れてまいりましたので、各巻の構成も含めて全面的に見直しを行い、紙パルプ製造技術シリーズとしてより充実した内容で改訂版を発行する運びとなりました。

本書の内容は工場で紙パルプの製造に従事する方々、工場管理、製品販売、資材調達などに従事する方々の参考となるように編集されており、また社内教育や学校教育など様々な目的に利用し易いように、紙パルプ製造技術入門も新たに追加いたしました。

本シリーズは全11巻で構成されており、第1巻はクラフトパルプ、第2巻はメカニカルパルプ、第3巻はパルプの精選・洗浄・漂白、第4巻は古紙パルプ、第5巻は紙料の調成、第6巻は紙の抄造、第7巻は仕上げ、第8巻はコーティング、第9巻は紙パルプの試験法、第10巻は計装制御システム、第11巻は紙パルプ製造技術入門となっております。第5巻「紙料の調成」、第10巻「紙パルプ・計装制御システム」の2巻は平成4年4月に発行済みです。今回発行の第8巻「コーティング」は全書時代にはなかった、待望久しいわが国でも数少ない塗工専門書です。

本書は現在それぞれの分野で活躍されておられる多くの方々のご協力を得て、まとめられたものでありまして、ここに本書の出版にご尽力いただきました出版委員会委員の方々、多忙な業務の傍らでご執筆下さいました執筆者の方々、並びに編集などに大変ご努力いただきました技術協会の丸茂憲二氏に対して心から感謝申し上げます。

平成5年7月

紙パルプ技術協会出版委員会委員長

平野 哲也